



ロータリーニュース

ROTARY NEWS

東京府中ロータリークラブホームページ <http://www.tokyo-fuchu-rc.org/>

発行所
東京府中
ロータリークラブ
広報委員会

東京都府中市緑町3-5-2
(むさし府中商工会議所会館4階)
TEL (042) 366-6200
FAX (042) 369-0010

ロータリークラブの会長任期は7月1日から翌年6月30日までです。その1年間で毎回新しいテーマを掲げるのですが、私の任期では「身近なところからのボランティア」といしました。

これは、クラブ内の親睦を深め、会員間の信頼関係を強めることで、多くの会員の方に奉仕活動へ参加していただきたいの思いからであり、また、年間活動も海外で行うのではなく、生活の基盤である府中市民の為にボランティア活動を行うことで、ロータリークラブの存在を知ってもらい、クラブの会員増強に繋げたい思いからこのテーマにしました。

さて、ロータリークラブの活動についてですが、ロータリークラブは社会奉仕と世界平和を目的とする人道的奉仕団体として、国際分野においてはポリオ撲滅・子供達の識字率向上・きれいな水対策などを行っており、東京府中ロータリー独自の事業としてはカンボジア・ラオスに学校建設寄贈

事業などを行ってきました。また、今年は府中市商工祭りで独立して間もない東ティモール国の紹介と民芸品の販売を行い、その収益を同国留学生の支援金にいたしました。さらに、国内においては青少年の健全育成を目的とした事業を中心にすすめており、なかでも、未来を担う子供たちの成長を願って始めた市内小中学校の先生を表彰する「教育功労者顕彰事業」は36年間続いており、市内小中学生を対象とした「作文コンクール」は44年目を迎え、その応募数は13,450点に達しました。また、地域に密着した活動として、大國魂神社の清掃活動などを継続して行うとともに、今年は年間200万人が利用する「ちゅうバス」の東の拠点である、京王線武蔵野台駅前のバス停に雨避け上屋を寄贈いたしました。

このような事業を行う過程で、私自身のロータリークラブへの知識不足と相手への伝達力不足を痛感した1年でした。私は子供の頃



「一年を振り返って」

東京府中ロータリークラブ
会長 加藤 吉松

東京府中ロータリークラブの皆様におかれましては、ますますご活躍のこととお喜び申し上げます。また、日頃から市政の様々な分野で多大なご協力をいただいておりますことに、心より感謝申し上げます。

貴クラブにおかれましては、創立以来、社会奉仕の崇高な理念のもと、国際ロータリー精神に基づき様々な奉仕活動を積極的に展開され、教育や青少年の健全育成のため、市内小中学生を対

象とする作文コンクールや、小中学校教諭を対象とする教育功労者顕彰事業など、地域に密着した事業はもとより、広く世界に目を向けた海外青少年交換派遣事業やラオス・カンボジアでの小中学校建設などの国際的な活動に取り組まれてこられました。これまでの多くの功績に深く敬意を表しますとともに、本市の青少年健全育成に、多大な貢献をいただいておりますことに、改めて厚くお礼申し上げます。

本市では、「みんなで創る笑顔あふれる 住みよいまち」の実現に向け、本年は「安全と健康」「愛着とおもてなし」「対話と協働」をテーマに市政運営に努めております。皆様方には、どうか今後とも、市政各般にわたるお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、東京府中ロータリークラブのますますのご発展と、会員の皆様のご健勝、ご活躍を心からお祈り申し上げます。



「一層のご活躍を」

府中市長 高野 律雄



▲第57回府中市商工まつりに参加
2017年8月4・5・6日大國魂神社境内



本年度活動の



(2017.7.1～2018.6.30)



▲京王線武蔵野台駅南口バス停留所上屋贈呈式
2017年10月31日(火)

◀明星学苑IAC・東京府中RC合同
大國魂神社清掃活動 2017年12月17日(日)



(お礼を述べられる上原先生)

第36回 教育功労者顕彰式

教育功労者の業績

日時：平成30年3月28日(水)
場所：大國魂神社 参集殿



(お祝いを述べられる高野市長)

中学校の部

実験・検証の指導過程を重視した魅力ある授業を実践してきました。また、学習指導要領の改訂に向けて主体的・対話的で深い学びとなる授業改善に積極的に取り組み、若手教員の授業力向上に尽力しています。

平成25年度から3年間、進路指導主幹教諭として、これまでの本校の進路資料の見直しを図り、年2回の生徒及び保護者対象の進路説明会の改善、充実に寄与しました。また、市内中学校の進路指導主任会においても中心的な役割を果たし、進路事務の適切な業務を遂行しました。

平成28年度からは教務主幹教諭として、本校の教育活動の根幹を支える役割を担っています。校長の学校経営方針に基づき、カリキュラムマネジメントの視点から多様な教育課題を整理・統合し、各教科・領域、特別活動の特性を考慮した教育課程の編成を進めています。その中で、生徒の学力向上に関わる諸調査の結果と生徒及び保護者による学校評価アンケートを分析・共有し、組織的・計画的な学校改善に努めています。



上原 直樹
主幹教諭
府中第三中学校
教職歴 33年
市内在職 20年

理科の学習指導において、ICTの活用を図るとともに、仮説

小学校の部

平成26年度から28年度までの3年間、研究主任としてリーダーシップを発揮して、国語科・算数科の授業の充実・改善を目指した校内研究を推進しました。この研究を通して若手教員の指導力向上に尽力するとともに、学校全体の研究への機運を高めました。特に、算数教育に精通し、多くの教員が算数の専門性を高めています。

今年度から教務副主任と研究副主任を兼任して管理職や教務主幹の指導の下、ミドルリーダーの自覚をもつて教職員と関わり、円滑な学校運営につなげています。特に、府中市教育委員会研究協力校として「特別の教科 道徳」の研究推進において、全校児童の実態把握や道徳授業の板書の工夫等に取り組む指導法の工夫・改善に結び付けています。さらに、自ら道徳授業を府中市の初任者教員に公開し、初任者育成に貢献しました。

また、6年生担任として児童の心に寄り添う指導を行うとともに、児童自身が規律を大切にする指導を徹底しています。そして、仲間と協力する学校生活の大切さについて適切で心温かな指導を行い、児童が存分に力を発揮して活躍しています。



中尾 友昭
主任教諭
府中第四小学校
教職歴 15年
市内在職 6年



清水 純子
主幹教諭
府中第六小学校
教職歴32年11ヶ月
市内在職 17年



横山 順子
主任教諭
住吉小学校
教職歴33年11ヶ月
市内在職 10年



境 義史
主幹教諭
矢崎小学校
教職歴 16年
市内在職 10年

主幹教諭として、大規模校の生活指導の充実に向けて尽力しています。全校一致の指導体制を確立するとともに、生活指導上の課題や成果を明確にし、迅速な対応を実現することで児童の居場所となる学校づくりに貢献しています。また、昨年度まで3年間研究主任として、研究主題「自ら考え、表現できる児童の育成」―誰もが楽しく「分かる・できる」指導の工夫―、その具現化に向け校内研究を推進してきました。指導案形式の統一、若手教員への丁寧な指導、助言、全学級各学期1回の公開授業を通して、より良い授業を生み出す研究を深める原動力となりました。その結果、年間100の実践が学校の財産となっています。

さらに、特別活動を通して学級づくりや、特別な支援を必要とする児童の困り感に寄り添い、保護者と連携して丁寧な適切な指導を重ねる行動力は、成果を発揮すると共に他の教員の模範となっています。

特別支援教育を専門とし、通級指導学級に通う児童への指導・支援に尽力しています。常に「子どもに学び、子どもを生かす」姿勢を貫き、子どもへの共感的理解と効果的な評価で子どもの自己肯定感を高め、自立心を培ってきました。通級情緒学級(さくら)の主任として、7年間の実践記録を発刊するなど、次世代の特別支援教育の推進者を育てています。さらに、特別支援教育コーディネーターとして担任の相談にも乗り、子どもの見取り方や指導の手だてをアドバイスし、学校全体の教育力を高めてきました。

今年度は、情緒障害教育の巡回化に当たり、特別支援教室設置プロジェクトチームの一員としてスムーズな移行ができるよう多くの提言をし、府中市の教育行政に貢献しました。さらに全国情緒障害教育研究会理事として、昨年7月の第50回全国情緒障害教育大会(東京大会)の場で府中市の情緒障害教育の成果を発表し、全国の情緒障害教育に携わる参加者から絶賛を受けました。

体育を専門として研究・研鑽を積み、常に「児童が主体的、対話的に学ぶ体育学習」を目指し、教材研究、教材開発に努めています。境主幹教諭の実践や指導、助言により、全教員の体育の授業力が高まっています。そして、府教研体育部の庶務担当副部長を長年勤め、府中市の体育科教育の充実・発展にも貢献しています。特に、東京都教育研究員(体育)における境主幹教諭の研究は、府中市内の教員の模範となりました。

また、生活指導主幹教諭として、児童一人一人が規律ある学校生活を送る良さを実感させるため、挨拶、整列、話の聞き方の指導を徹底して、児童の健全育成を力強く支えています。生活指導上の課題を教員の成長の場と捉え、全員が課題を共有する風通しのよい体制を確立し、共に考え、解決に結び付けています。

さらに、ICT推進リーダーも務め、校内におけるICT活用の推進に尽力し、児童がICTを活用して、主体的・対話的で深まりのある学習を進められるようになっています。そして、昨年7月には研究発表会開催の中核となって準備を進めて、実践と研究成果を広く発信することができました。

教育振興基金について

公益信託東京府中ロータリークラブ
教育振興基金運営委員会

委員長 松村 信幸

東京府中ロータリークラブは、教育こそが国家の将来を左右するとの認識に基づき、クラブ創立二十周年の記念事業として本基金を創設いたしました。

その趣旨は、市立小中学校において顕著な功績をあげられた先生方を教育功労者として顕彰するということで、府中市、府中市教育委員会、府中市立小中学校校長会のご協力のもと、36年間に310名の先生方を顕彰してまいりました。

当クラブは、創立当初より青少年育成に主眼をおいた奉仕活動に注力して参りましたが、教育功労者顕彰事業は44年目を迎えた作文コンクールと並び継続事業の柱となっています。

時節柄、基金の維持運営には難しい面もありますが、会員一同意義ある限りは続けてゆきたいと考えておりますので、従前の通りご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

教育功労者選考を終えて

選考委員長 丹代 徹

今年度で三十六回目を迎える教育功労者顕彰事業は、児童・生徒の教育指導・職務などに顕著な成果を上げた府中市立小・中学校の教員等の功績を顕彰することによって、教育振興を図ることを目的としており、今年度までに300人以上の方が顕彰を受けられ教育や子どもたちの健全育成に貢献し、府中市の教育に大きな影響を与えています。

今年度も教育功労者にはふさわしい先生方を小・中学校の校長先生方より小学校8名、中学校5名のご推薦をいただきました。

推薦された先生方は、各学校の中核として教育活動を支え、自ら先頭に立って研究授業を行い教材研究・授業のあり方等について若手教員に示したり、また、生徒指導には情熱をもって取り組み生徒の健全育成のために力を尽くしている方等、学習面・生活指導・進路指導・特別支援教育・学

校運営などで活躍し、児童生徒から慕われ、保護者や地域からも信頼を寄せられている方たちばかりでした。それだけに大変難しい選考でありましたが、五回の選考委員会を行い推薦された一人一人を十項目の選考基準と照らし合わせ、最終選考では選考委員一人一人から補足説明をしていただき、全員一致で小学校四名、中学校二名を顕彰候補者として運営委員会に推薦しました。運営委員会での最終決定を経て、教育功労者として三月二十八日に顕彰されました。

顕彰された先生方は、ご家族の支えを受けながらさらに府中市のために力を注いでくれると考えています。本事業が、教育の振興に大きく寄与されていることに敬意を表すと共に、今後とも継続していただきますようお願い申し上げます。選考のご報告といたします。

推薦された先生方は、各学校の中核として教育活動を支え、自ら先頭に立って研究授業を行い教材研究・授業のあり方等について若手教員に示したり、また、生徒指導には情熱をもって取り組み生徒の健全育成のために力を尽くしている方等、学習面・生活指導・進路指導・特別支援教育・学



▲晴れの教育功労者(前列)

第44回 作文コンクール

ロータリークラブ賞 作品

平成30年6月30日(土)
ルミエール府中 コンベンションホール飛鳥

あいさつは大切



四谷小学校
四年二組

酒井 徹平

ぼくは、あいさつはとても大切だと思います。あいさつは、人を元気にしたりにこにこさせたりするまほうの言葉です。

ぼくは、毎日朝起きたらかならず家族に、「おはようございます」

と、元気よく大きな声であいさつしています。そう言うとおばあちゃんが、

「いつもおはようと元気に言えてえらいね。てっぺいが毎日大きな声であいさつをしているからおばあちゃんも元気をもらっているよ、ありがとう。」

一年前の笑顔



府中第四中学校
二年一組

小高 彩乃

「そうして集まったランドセルは、アフガニスタンの子どもたちに届けられました。」

アナウンサーは、そう言った。私は、朝のテレビのニュースを見ていた。季節は春。中学二年になったばかりだった。そのニュースは、日本で使わなくなったランドセルを、勉強することが難しい、アフガニスタンの女の子たちに届けるという内容であった。それを見て、私はふと、去年のことを思い出した。

去年の今頃、私は初めての中学生になった。六年間使いこなして古くなった赤のランドセル。それはもう、使わない。そして、そのようなランドセルを集めて、貧しい国へと届けることができることは、母に言われて初めて

と、言ってくれます。ぼくのあいさつでおばあちゃんを元気にできて自分もうれしくなります。朝の大きな声のあいさつをこれからもつづけていきたいなと思います。

ぼくは、回らん板がきた次の家に回すお手つだいをしています。回らん板をどこに行くとときに気をつけていることは、相手の人の目を見て大きな声であいさつをすることです。この前、ぼくが回らん板をとどけに行つて、

「こんにちは、回らん板おねがいします。」

と、大きな声で言うのと、

「回らん板ありがとう。お手つだいをしてくれてえらいね。大きな声であいさつしていいりつぱだね。」

と、近所の人々がにこにしながら言うてくれました。

昔のぼくははずかしがりやで、先生や友だ

知った。それを聞いて、私はすぐに寄付することにした。私が使ってきたランドセルで、貧しい人を救うことができるのなら、思い出の詰まったランドセルとの別れがさびしい、とは言つていられないだろう。私は、世界に貢献するという気持ちで、ランドセルを母に預けた。

それから一年が経ち、たまたま目にしたニュースで、私はある映像を見たのだ。ランドセルがアフガニスタンへ届き、それをうれしそうに背負いながら笑う、女の子たちの映像だ。私はうれしくなって、自然と笑みがこぼれた。去年もこうやって、笑ってくれたんだと想像すると、世界に貢献したんだという実感が湧いてきた。私が使ったランドセルで、困っている人を一人、笑顔にすることができたのだ。たったの一つ、一つだけど、今まで何の関わりもなかった人と、こうして関わることでできたのだ。とても不思議な気持ちになった。一年前には感じなかった気持ち。一年前には気づかなかった、遠い人とのつなが

ちにはあいさつはできていたけれど近所の人やちいきの人には、すすんであいさつができていませんでした。でも今は、近所の人や地いきの人にもあいさつが大きな声でできるようにだんだんとなってきました。あいさつをする、ぼくの元気を相手にとどけられるし、相手にあいさつを返してもらうとぼくももっと元気になります。

学校では、先生や友だちに、

「おはよう。」

「さようなら、また明日。」

と、毎日あいさつをしています。一日の生活の中でこのあいさつがなかったらとてもさびしいと思います。あいさつで友だちができてなかよくなると思うからです。

ぼくは、これからも家族や地いきの人や学校でも大きな声であいさつすることを心がけていきたいです。

り。遠い国の女の子たちの笑顔が、それらを私に気づかせた。分かせてくれた。感謝しかない、そう思った。

私が大切に行っていることは、少しでも人の役に立つような行動をとることだ。一年前の私は、遠い場所から、ほんの少しだけ人の役に立つような行動をとったのだ。私のランドセルを使っているのは誰なのか。それは分からない。元気な子か、内気な子か、勉強が大好きな子かもしれない。分からないが、ランドセルを通して、国境を越えて人と関わったこと、そして人の役に立ったこと。それは、紛れも無い事実である。私は、この経験を、改めて実感した。それを忘れず、普段からもっと大切にしていこうと、さらに多くの人を笑顔にしたいと、心からそう思った。



第四十四回 作文コンクール審査を終えて

審査委員長 府中市立府中第二小学校

白倉 裕子

本年度のテーマは、「大切にしていること」でした。テーマを「大切にしているもの」や「人」ではなく、あえて大切にしていることにしたのは、ものや人などの説明ではなく、人との関わりを通して感じたことや考えたことを書いて欲しいと思ったからです。そしてそれを、自分の言葉でまとめて欲しいと願い、このテーマを設定しました。

四十四回を迎える今年度は、一万三千四百五十点の応募がありました。たくさんのおみなさんが頑張って作文を書いていて、ことをうれしく思います。

これらの作品は二十三人の審査員の先生方を中心に、次のような基準をもとに、審査を行いました。

- ・自分の生活体験から取材したものであり、作文を書いた人の成長が感じられる作品。
- ・具体性がある、心に伝わってくる作品。
- ・人権尊重を重視し、思索に深みがある作品。
- ・表現力が豊かで、読み手の心にしみ通る作品。
- ・文章構成を工夫している作品。
- ・学年相応に表現が正確である作品。
- ・学年相応な字で丁寧に書いている作品。

以上のような基準をもとに、書いた人の主題や意図を考えながら、長い時間をかけて、丁寧に審査を進めました。その結果、ロータリー賞、金賞、銀賞、銅賞、計二百十人の優れた作品を決定しました。入賞されたみなさん、本当におめでとうございます。

作品を読んでいると、家族や身の回りの人との関わりの中で、みなさんが様々なことを感じ、考えながら過ごしている様子がよくわかりました。

小学校低学年の作品には、家族や友達との温かいやり取りが書かれているものが多くありました。家族や友達から何かしてもらった時に、自分も相手に何かしたいという相手を思っている気持ちが育ち、実際に行動に移していく様子がたくさん書かれていました。家族や友達を大切に思う優しい気持ちがあふれ出ていました。

高学年の作品は、家族や友達とのことだけでなく、言葉に関わる大切にしているものも多く作文に書かれていました。地域の方と交わすあいさつの大切さや自分が成長していく中で出会った大切にしている言葉などです。自分が大切に思うものを周りの人にも伝えたい、大事にしてほしいという思いの広がりも感じられました。

中学生の作品は、小学生よりも更に世界が広がります。自分が大切にしているものがこの先の自分の行動に結びついていくという発想で書かれたものが多かったのです。人と関わって体験する中で、様々なことを考えるようになり、今度は自分が人のために尽くしたい、がんばりたいという熱い思いが書かれていました。中学生の皆さんの奉仕の気持ちや社会の役に立ちたいという気持ちに触れ、審査員である私たちも清々しい気持ちになりました。

書くことは考えることであり、とてもエネルギーのいる作業です。しかし、書くことによって自分を振り返り、自分を見つめ直すことができます。それはとても勇気が必要で、根気のいる作業です。だからこそ、その中で自分のよさに気づき、これからの自分を考えたりできるのです。これから一人でも多くの人に、書くことの楽しさ、自分を表現することの楽しさを感じてほしいと願っています。

結びに、このような機会を毎年子ども達に与えてくださる東京府中ロータリークラブの方々、府中市教育委員会の関係の方々、作品応募に協力し指導してくださった先生方に深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

第44回 作文コンクール入賞者一覧

課題

テーマ: 大切にしていること
一人との関わりを通してー
各学年とも題名は自由

対象 / 府中市在学の小・中学生	応募総数：13,450 点（35 校）	〔内訳〕 小学生：10,010 点（23 校）	中学生：3,440 点（12 校）
------------------	---------------------	-------------------------	-------------------

ロータリークラブ賞（2点）

四谷小学校 4年 酒井 徹平
府中第四中学校 2年 小高 彩乃

金賞（4点）

明星小学校 5年 柚木 紗佳
府中第七小学校 6年 鈴木 那歩
浅間中学校 1年 小田桐 弥恩
府中第十中学校 3年 杉田 京

銀賞

小学校 24 名
府中第二小学校 2年 泉川 愛花
府中第七小学校 2年 荻野 航
府中第十小学校 2年 山田 倫央
小柳小学校 2年 井村 桃嘉
明星小学校 2年 中村 美有羽
府中第六小学校 3年 熊倉 南
府中第七小学校 3年 近藤 悉月
若松小学校 3年 勝田 碧伊
明星小学校 3年 菊原 光希
府中第二小学校 4年 荒谷 奏
府中第九小学校 4年 神山 凜
本宿小学校 4年 石丸 優香
白糸台小学校 4年 戸井田 美歩
本宿小学校 5年 福島 奈緒
若松小学校 5年 川村 莉子
若松小学校 5年 古賀 麻里衣
南白糸台小学校 5年 半場 伊織
新町小学校 6年 増谷 いつき
本宿小学校 6年 岡田 晃拓
本宿小学校 6年 落合 夏海
本宿小学校 6年 瀬尾 香苗
白糸台小学校 6年 テラスロイザマリ
白糸台小学校 6年 三輪 柚月
白糸台小学校 6年 山本 美玖

中学校 35 名
府中第一中学校 1年 大塚 はな
府中第二中学校 1年 岡田 祐菜
府中第二中学校 1年 西村 優那
府中第二中学校 1年 嘉藤 陽平
府中第四中学校 1年 山本 小暖
府中第四中学校 1年 星野 伶奈
府中第八中学校 1年 風戸 悠花

府中第九中学校 1年 平野 泰樹
府中第十中学校 1年 畑山 誠
浅間中学校 1年 齋藤 かのん
明星中学校 1年 福元 愛咲
府中第一中学校 2年 平川 愛理
府中第一中学校 2年 首藤 穂乃香
府中第一中学校 2年 白井 萌菜
府中第四中学校 2年 小川 和那
府中第四中学校 2年 加川 優里
府中第四中学校 2年 鈴木 小春
府中第五中学校 2年 矢萩 千尋
府中第六中学校 2年 竹内 駿
府中第八中学校 2年 山西 菜月
府中第八中学校 2年 上村 董
浅間中学校 2年 佐藤 悠月
浅間中学校 2年 中野 鼓子
浅間中学校 2年 上原 千佳
浅間中学校 2年 関 穂々美
明星中学校 2年 川上 奈桜
府中第一中学校 3年 大澤 颯司
府中第一中学校 3年 服部 南海
府中第四中学校 3年 藤田 舞
府中第五中学校 3年 池田 慶太
府中第七中学校 3年 高柳 葵
府中第七中学校 3年 山口 曙春
府中第十中学校 3年 大池 花菜
府中第十中学校 3年 橋場 彩香
浅間中学校 3年 齋藤 茜史

銅賞

小学校 77 名
府中第四小学校 2年 小勝 澄空
府中第五小学校 2年 中島 紗那
府中第六小学校 2年 川口 紗季
府中第七小学校 2年 富岡 珠菜
府中第七小学校 2年 増山 拓真
府中第七小学校 2年 米村 旺紗
府中第八小学校 2年 天谷 未那
府中第八小学校 2年 長沼 麻衣
府中第十小学校 2年 村田 愛莉
府中第十小学校 2年 丸山 咲紀
武蔵台小学校 2年 濱田 つくし
武蔵台小学校 2年 平田 結佳
住吉小学校 2年 君塚 凜
新町小学校 2年 原 詩乃

本宿小学校 2年 野田 靖也
本宿小学校 2年 田中 陽菜
若松小学校 2年 鈴木 晶恵
小柳小学校 2年 稲村 明花
南白糸台小学校 2年 倉田 光
南白糸台小学校 2年 佐々木 愛佳
南白糸台小学校 2年 林 あいり
四谷小学校 2年 有沢 優花
四谷小学校 2年 名取 咲希
四谷小学校 2年 馬場 裕子
南町小学校 2年 仙波 可愛
南町小学校 2年 山岸 茜璃
南町小学校 2年 高橋 奏一郎
日新小学校 2年 村岡 美碧
日新小学校 2年 小野田 竺気
日新小学校 2年 藤田 麻央
日新小学校 2年 吉本 悠那
府中第三小学校 3年 執行 優太
府中第七小学校 3年 根岸 莉緒
府中第八小学校 3年 鈴木 円果
府中第八小学校 3年 西川 心春
府中第十小学校 3年 岡元 優貴
若松小学校 3年 俵 理一郎
若松小学校 3年 内藤 遥飛
小柳小学校 3年 岡本 二葉
小柳小学校 3年 北澤 優空
小柳小学校 3年 横山 直穂
明星小学校 3年 大友 優子
府中第一小学校 4年 中山 夏凜
本宿小学校 4年 尾崎 春佳
若松小学校 4年 青葉 柚希奈
府中第六小学校 5年 寺澤 明里
府中第六小学校 5年 棧 妃香
府中第八小学校 5年 小澤 蘭
府中第八小学校 5年 杉本 梨奈
府中第九小学校 5年 坂下 心絆
本宿小学校 5年 江戸 佑太郎
白糸台小学校 5年 嘉藤 友里
南白糸台小学校 5年 上野 日暖
南白糸台小学校 5年 井上 美空
南白糸台小学校 5年 霜村 優奈
南白糸台小学校 5年 萩原 楓
南町小学校 5年 高橋 遙歌
日新小学校 5年 菅 晴彦
府中第二小学校 6年 須田 葵葉

府中第四小学校 6年 小勝 友香
府中第四小学校 6年 倉林 紗弥菜
府中第六小学校 6年 和田 莉音
府中第六小学校 6年 廣野 心紅
府中第七小学校 6年 藤原 美里
住吉小学校 6年 岩月 綾香
住吉小学校 6年 水城 光太
本宿小学校 6年 栗田 蒼士
白糸台小学校 6年 秋山 睦馨
白糸台小学校 6年 近田 愛利
矢崎小学校 6年 金澤 道
若松小学校 6年 今井 萌七
小柳小学校 6年 北原 羽
四谷小学校 6年 藤田 七海
南町小学校 6年 長内 花歩
明星小学校 6年 吉田 真依子
明星小学校 6年 大澤 茉弘
明星小学校 6年 山崎 菜央

中学校 68 名

府中第一中学校 1年 松田 知佳
府中第一中学校 1年 水嶋 康平
府中第二中学校 1年 丸山 来花
府中第二中学校 1年 波江野 光琉
府中第四中学校 1年 椎名 優月
府中第四中学校 1年 加瀬 茜
府中第九中学校 1年 安藤 皐
府中第九中学校 1年 新倉 明咲
府中第十中学校 1年 高橋 伶太
府中第十中学校 1年 塚田 怜佳
府中第十中学校 1年 伊藤 彩海
浅間中学校 1年 荒木 空
浅間中学校 1年 泉川 玲奈
浅間中学校 1年 齋藤 帆乃香
浅間中学校 1年 加藤 大晟
浅間中学校 1年 大西 美緒
浅間中学校 1年 尾崎 美緒
浅間中学校 1年 中島 凜子
明星中学校 1年 奥下 冬桜
明星中学校 1年 大木 志桜
府中第一中学校 2年 杉原 奏歩
府中第一中学校 2年 本橋 葵
府中第一中学校 2年 佐田谷 花凜
府中第三中学校 2年 西澤 里織
府中第四中学校 2年 金澤 柊莉

府中第四中学校 2年 野口 華
府中第四中学校 2年 高橋 希
府中第五中学校 2年 作田 夏希
府中第五中学校 2年 貞金 誠
府中第五中学校 2年 田代 若葉
府中第五中学校 2年 林田 理央
府中第六中学校 2年 小野寺 若奈
府中第六中学校 2年 田代 瑞季
府中第六中学校 2年 田村 新
府中第六中学校 2年 西川 裕太郎
府中第六中学校 2年 池田 純菜
府中第八中学校 2年 井口 歩海
府中第八中学校 2年 岩田 七海
府中第八中学校 2年 栗林 永羽
府中第九中学校 2年 鎌田 彩花
府中第十中学校 2年 上田 陽菜
浅間中学校 2年 荒井 七海
浅間中学校 2年 今井 柊里
浅間中学校 2年 新井 菜心
浅間中学校 2年 弘中 舞衣
浅間中学校 2年 大室 絢花
浅間中学校 2年 中村 文音
浅間中学校 2年 藤田 真央
明星中学校 2年 伊東 亮
明星中学校 2年 小林 ころこ
府中第一中学校 3年 堀 花会
府中第一中学校 3年 吉田 瑠々花
府中第一中学校 3年 岩見 こはく
府中第一中学校 3年 久保田 蘭
府中第四中学校 3年 大久保 七海
府中第四中学校 3年 東條 夏実
府中第四中学校 3年 大仲 和奏
府中第四中学校 3年 会津 衣真
府中第五中学校 3年 日高 愛子
府中第七中学校 3年 高橋 慧
府中第七中学校 3年 渋谷 美月
府中第八中学校 3年 伊藤 凌自
府中第九中学校 3年 佐藤 朱華
浅間中学校 3年 竹元 美優
浅間中学校 3年 守田 ゆり爽
浅間中学校 3年 岸本 和果
浅間中学校 3年 植田 創太



東京府中ロータリークラブ会員名

2017.7.1 ～ 2018.6.30 会員数 51 名

理事・役員

会

員

会長
加藤吉松
加藤建設(株)取締役会長

直前会長
小林伸夫
サンコウ総合設備(株)代表取締役

会長エレクト
村上保裕
(株)マイテック代表取締役会長

副会長
市川恭秀
(株)金子園相談役

理事
小宅肇
府中観光交通(株)代表取締役

理事
中原修
国際航業(株)取締役相談役

理事
加藤茂
(株)八洲代表取締役

理事
榎ヶ埵俊彦
(株)守屋商会代表取締役

理事
松村信幸
(株)フラックス取締役会長

理事
荒井清
多摩信用金庫府中支店長

会計
塚崎修
(株)きらぼし銀行府中支店長

幹事
篠原定
(株)篠原電気工業代表取締役

副幹事
須藤光忠
(株)三晃代表取締役

副幹事
田中善雄
(株)府中植木代表取締役

大前明
(株)クレスト代表取締役

福島徹也
(株)セルパングス代表取締役

古谷正志
(有)八千代商事不動産代表取締役

濱中重美
(有)浜喜屋代表取締役

畠山武
中学校・高等学校校長
学校法人明星学園

池田征士郎
(株)インテック防水代表取締役

池上敦雄
(有)池代表取締役

印部武順
(株)栃木石材店取締役会長

井上常正
(株)青木屋

伊藤研二
(株)コーシン代表取締役

十藏寺新
医療法人社団新愛会
東府中病院院長

柿田清彦
JRA日本中央競馬会
東京競馬場長

桂田州啓
サントリービール(株)
武蔵野ビール工場長

小松貴之
東京海上日動火災保険(株)
西東京支店 府中支社長

松山晃
松山会計事務所代表

松村一夫
(株)東京マツシマ監査役

村野猛
(有)村野商店代表取締役

中村尚道
公益社団法人調布市
医師会顧問

根守克彰
須田清法律事務所
弁護士

小川一廣
学校法人田中育英会
東京エストラベル・
ホテル専門学校校長

大木稔
(株)大木組代表取締役社長

大久保秋生
(株)共同印刷所代表取締役

阪元法雄
(株)三菱UFJ銀行
多摩中央支社長

佐藤靖生
一級建築士事務所(有)
佐藤靖生建築研究室
代表取締役

佐藤泉
SMB C日興証券(株)
調布支店課長

芝辻義治
京王建設(株)

高橋晴彦
高橋興産(有)代表取締役

高野紘一
府中スポーツ代表者

田中昇
(株)タイレル代表取締役

梅原勝彦
(株)エーワン精密
取締役相談役

宇都宮秀仁
(株)日華代表取締役社長

若松寧
医療法人社団和徳会
若松歯科医院理事長

和久哲也
野村證券(株)府中支店長

山上敦
(株)三越伊勢丹
伊勢丹府中店長

吉野幹夫
(合名)よしの家代表者

吉岡孝明
天神町クリニック院長

湯浅葉子
大和証券(株)府中支店長

</

